

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度
基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		
取組方針	2	便利で快適な住環境をつくろう		
取組分野	1	公共交通		
施策主管部局	経営企画部			
担当課	企画政策課		道路河川課	

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
さんさんバスの利用者数	284,632人	349,815人	379,277人	384,000人	388,000人	392,000人	330,000人

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 持続可能な公共交通ネットワークの形成

昨年度実施結果	課題
住民、交通事業者、行政などの関係者でみよし市地域公共交通計画の改定及び実施に係る連絡調整を行うためにみよし市地域公共交通会議を開催した。	令和7年3月に改定されたみよし市地域公共交通計画に基づき、鉄道、路線バス、タクシーなどの公共交通が相互に連携し、協力をする体制を維持する。

(2) 利用しやすい環境整備

昨年度実施結果	課題
パソコンや携帯電話からバスの運行情報などを確認できる「バスロケーションシステム(バス運行情報・位置情報サービス)」を運用した。また、バス停上屋及びベンチを1基設置した。	利用者アンケートによると、行先や時刻表の見やすさの不满割合が一定数ある。今後は、利用者にとってわかりやすい情報提供を行うとともに、利用者が情報を積極的に受け取る意識醸成を図る。

(3) 次世代バスの導入

昨年度実施結果	課題
次世代バス(EVバス)の導入について検討を行った。	さんさんバスの運行に適した次世代バスが存在せず、導入に至らなかった。今後は、運行に適した車両においてFCVを含めた低公害車両が量産化された場合には、積極的に導入を検討していく。

(4) 公共交通の利用促進

昨年度実施結果	課題
乗り方教室や、近隣市町や交通事業者と連携したイベントなどを実施し、公共交通全体の利用促進を図った。また、「さんさんバスの日」イベントでは1日乗車無料DAYを実施した。	より多くの方にさんさんバスを知っていただく機会が必要と考える。引き続き、近隣市町や交通事業者と利用促進イベントを開催するなど、公共交通の関心向上を図っていく。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	公共交通の利用状況及び地域公共交通計画の評価に基づき、各公共交通の機能に応じたサービスの確保、維持、改善を行うとともに、利用者に対してわかりやすい情報提供を行うなど、公共交通サービスの向上を図る。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	6	快適で暮らしやすいまち			
取組方針	2	便利で快適な住環境をつくろう			
取組分野	2	道路			
施策主管部局	都市建設部				
担当課	道路河川課				

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
都市計画道路整備率	81.1%	81.7%	81.7%	81.8%	81.9%	82%	82.1%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 幹線道路の整備

昨年度実施結果	課題
国道153号線の6車線化について、国へ要望した。	長年要望し続けている。

(2) 生活道路の整備、維持・修繕

昨年度実施結果	課題
市内各所において、舗装及び区画線等の修繕を行った。	修繕が必要な道路は多く、優先順位の低い道路については後回しとなっている。

(3) 橋の新設、維持・修繕

昨年度実施結果	課題
坂上歩道橋及びインター根浦橋の修繕を行った。	優先順位の低い橋については後回しとなっている。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	車道・自転車通行空間の整備、歩行者道のバリアフリー化など、すべての利用者に配慮した整備を進め、便利で快適な住環境を推進する。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	6	快適で暮らしやすいまち				
取組方針	2	便利で快適な住環境をつくろう				
取組分野	3	市街地整備				
施策主管部局	都市建設部					
担当課	道路河川課		公園緑地課			

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
市街地整備済面積	587.7ha	620.6ha	630.9ha	630.9ha	630.9ha	630.9ha	633ha

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 住宅用地の整備推進

昨年度実施結果	課題
福谷北地区地元組織との打合せに参加し、整備手法等の検討を行った。	福谷北地区の地権者組織の立上げと地権者仮同意の取得。土地区画整理促進区域(三好上地区)の整備手法の検討。

(2) 地区施設整備事業の推進

昨年度実施結果	課題
三好中島地区計画・地区施設整備事業における第三調整池の整備を開始した。	令和7(2025)年度で事業完了見込み。

(3) 都市計画道路の整備促進

昨年度実施結果	課題
東郷三好線、平池天王台線、大沢寺ノ前線について、用地買収等を進めた。	土地所有者の意向によっては、まったく交渉が進んでいない筆がある。

(4) 地区計画制度の活用

昨年度実施結果	課題
まちづくり土地利用条例に基づき開発計画の審査等を行った。また、福谷大沢地区の地区計画の検討を行った。	福谷北地区の住居系土地利用の検討を行う必要がある。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	土地区画整理事業が未実施の地区についても、事業推進に向けて市としても指導・支援を行っていく。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度
基本目標	6	快適で暮らしやすいまち		
取組方針	2	便利で快適な住環境をつくろう		
取組分野	4	景観		
施策主管部局	都市建設部			
担当課	都市計画課			

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
景観に配慮した地区数	8地区	9地区	9地区	10地区	10地区	10地区	9地区

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) みどりと景観計画の推進

昨年度実施結果	課題
4つの基本目標の達成に向けて、アクションプランの取組内容に基づき、各取組主体において、緑化指定地区の維持管理に対する助成、街路樹の維持管理等を実施した。	市民や事業者に対する緑・景観づくりに関する情報の提供内容を充実させ、緑化に関する意識の啓発を図る必要がある。

(2) 景観重要樹木の保全

昨年度実施結果	課題
剪定、土壌改良等の維持管理を行いました。	良好な景観形成を維持するため、景観重要樹木の保全に対する市民の意識の高揚を図る必要がある。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	都市空間の形成や景観に配慮した住環境の整備を進めるため、市民と連携しながら必要に応じて地区計画の策定を進めていく。